

史

Fumiyoshi

佳

ライブ

2018

津軽三味線 meets 津軽三味線

新潟で独自の活動を続けてきた津軽三味線プレイヤー「史佳」と「小林組」を
弾き三味線(史佳)が、叩き三味線(小林組)を迎えて、「いま」×「新潟」のSHAMISEN音楽を奏でる!



2018年 6月 24日 (日)

13:30 ~ 15:30

会場 砂丘館 座敷・居間・茶の間

定員 50名

料金 一般 3,500円

小・中学生 2,000円 (茶菓付き)

予約開始日 5月23日(水) (詳細は裏面)

主催 砂丘館



with

小林組。

砂丘館



史佳 Fumiyoshi (ふみよし)

ふるさと新潟に拠点を置き、三味線プレイヤーとして国内外で演奏・講演活動を行う。音の響きを大切に“弾き三味線”奏法を得意とし、津軽三味線のスタンダード曲はもちろんのこと、近年は作曲家/アレンジャーの長岡成貢氏とともに新しい楽曲作りにも取り組み、古典をベースとしつつ、伝統芸能の枠を超えた新しいニッポンの音楽を目指して活動している。

1974年新潟市生まれ。9歳より津軽三味線の師匠であり母でもある高橋竹育より三味線を習い始め、2000年よりプロ活動をスタート。ホールコンサートの他、国指定重要文化財の日本建築等でも演奏会活動を行い、2011年にはルーブル美術館にて日本人として初めて演奏を披露。2001年に1stアルバム「新風」を高橋竹秀の名で、2003年には本名である小林史佳としてオリジナル曲を含む2ndアルバム「ROOTS TABIBITO」をリリース。2006年リリースの3rdアルバム「Ballade」では弦楽四重奏との融合にも取り組み、三味線の楽器としての新たな可能性も追求。2010年には津軽三味線の名人・初代高橋竹山とかつて共に全国を廻った、民謡の生きる伝説・初代須藤雲栄師とのライブを収録した4thアルバム「風の風伝」(かぜのことづて)、2012年にはそれに続く5thアルバム「続 風の風伝」を“fontec”レーベルよりリリース。同年よりアーティストネームを“史佳 Fumiyoshi”と改め、故郷新潟をテーマにしたオリジナル曲「桃花鳥-toki-」を発表。2013年には自主レーベル“penetrate”を立ち上げ、全曲オリジナル楽曲のアルバム「宇宙と大地の詩」をリリース。その他、自らの挫折から患ったうつ病体験を語る講演を、ライフワークとして教育機関や自殺予防事業などを通じて積極的に行っている。

小林組。(こばやしぐみ)

迫力ある撥捌きと繊細な旋律を奏でる津軽三味線 小林組。
じょんから節からオリジナル曲まで独自の世界が響き渡る。
素晴らしい演奏と歌声は、全国各地で脚光を浴びている。

2016年6月に発売された待望の1stアルバムが大好評、絶賛発売中。



史佳 with 小林組。 ライブ 2018

12年目の出会い

「史佳」と「小林組。」——同じ津軽三味線プレイヤーながら、かたや弾き三味線、かたや叩き三味線と呼ばれる違う流れを受け継ぎながら、新潟を拠点に独自の活動を続けてきました。両者の砂丘館での初ライブはどちらも2006年。その両者が12年目にしてここ砂丘館で初めて出会います。同じで、違う、ふたつの津軽三味線がひとつになって、どんな響きを生み出すのか、注目です！

史佳 Fumiyoshi ライブ with 小林組。

2018年6月24日(日) 13:30~15:30

会場 砂丘館 座敷・居間・茶の間

定員 50名

料金 一般 3,500円 小・中学生 2,000円(茶菓付き)

お申し込みについて

予約開始日 5月23日(水)

電話・FAX 025-222-2676

またはEメール sakyukan@bz03.plala.or.jp (砂丘館)へ

*Eメール、FAXでお申込の場合は連絡先(電話番号)、人数を併記して下さい。

砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町5218-1

tel./fax. 025-222-2676

sakyukan@bz03.plala.or.jp

指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体



会場には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用下さい。
●新潟駅からのバス:浜浦町線 C2系統又は観光循環バス「西大畑坂上」バス停下車徒歩1分
●新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は、駐車券掲示にて1時間分の無料券を差し上げます。

私たちは砂丘館の自主事業を応援しています。

青空ありれ株式会社

NSGグループ

株式会社 ナレッジライフ

SHIKAWA

新潟ビルサービス

丸屋本店

藤田金属

郷土の文化に親しむ会